

# サポート

NO. 147号

平成29年11月28日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

## 平成29年度キャリア教育実践研究協議会

平成29年10月30日（月）、県総合教育センターを会場に「キャリア教育実践研究協議会」が開催されました。県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、市町村教育委員会関係者らが参加し、キャリア教育の実践発表や協議、情報交換等が行われました。

午前の全体会では、「地域の人的・物的資源を活用したキャリア教育」の取組についての発表として、特別支援教育課から「職域開拓促進事業」の取組が紹介されました。その後のトークセッションでは、「社会に開かれた教育課程を踏まえたキャリア教育について」と題して、秋田県中小企業家同友会、秋田県PTA連合会、県教育庁義務教育課、同高校教育課、同特別支援教育課のそれぞれの立場から、新学習指導要領の要となる「社会に開かれた教育課程」を踏まえて、今後のキャリア教育をどのように推進していくかについて話し合われました。

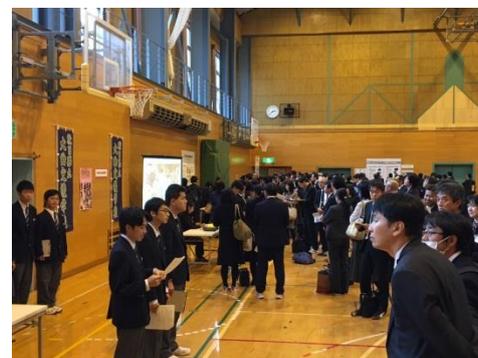
午後は、体育館を会場として各校種におけるキャリア教育に関わる実践発表が行われました。特別支援学校からは、ゆり支援学校と大曲支援学校の各高等部における取組について発表があり、どちらの学校も写真や動画を使ったプレゼンテーションを行い、日頃の学習の成果を紹介しました。高等部作業学習や地域と連携した実践的な学習の様子に参加者は興味深く聞き入っており、発表後は、堂々とした態度で質問に応じる生徒たちの様子が見られました。また、特別支援学校分科会では「地域に根ざしたキャリア教育の推進～学校と地域や家庭、企業等がより効果的に連携していくためのキャリア教育全体計画活用の現状と課題～」についてグループ別協議を行いました。各校の課題と現状を出し合いながら、キャリア教育全体計画を有効に活用するために全校体制でキャリア教育を推進することの重要性について確認しました。



ゆり支援学校高等部の発表



大曲支援学校高等部の発表



発表会場の様子

でんしん  
伝心 その1

## 祝！ 比内支援学校かづの校創立40周年記念式典 並びに学習発表会

10月28日(土)鹿角市交流センターにて、学校創立40周年を記念する式典並びに学習発表会を開催しました。当日は、児童生徒や保護者、関係の方々を含めて約200人が出席し、これまでの月日を振り返り、これからも地域に根ざした学校として歩いていくことを誓いました。式典で児童生徒会長の高等部3年 高橋貢史朗さんは、「仲間と過ごした日々はかけがえのないもの。これからも地域の皆様への感謝を忘れず、絆を深めて次の未来へ向かって歩いていきます。」と挨拶しました。

続く記念学習発表会では、児童生徒会のテーマ発表、交流校である花輪高校と花輪一中の吹奏楽部の演奏で幕が開き、小・中・高等部の演目は鹿角特産のりんごをテーマにした劇を演じました。高等部の「リンゴレンジャー出動2017」では、かづの校の創設期にタイムスリップして学校を壊そうとするドクガー軍団を、現代のリンゴレンジャーと当時のヒガシヤマンが連携してやっつけるというストーリーでした。BGMに懐かしい音楽を使ったり、切れのいい動きで会場を魅了したりと大盛況の演目になりました。終盤は、同窓生も加わり、花輪ばやしの太鼓演奏と手踊りを行い、スクールソング「心の扉～キミガスキ～」では歌と手話に保護者も参加して会場が一体となってフィナーレを迎えました。この日のために時間をかけてじっくり準備してきたことが実を結び、関係の皆様にも感謝の気持ちを伝えることができ思い出に残る一日となりました。



児童生徒会長挨拶  
高等部3年 高橋貢史朗さん



小学部ステージ発表  
「ドクガーからりんごを守れ！」

(副校長 菅原 文子)

でんしん  
伝心 その2

## 祝！ 稲川支援学校創立30周年記念式典

本校が昭和62年(1987年)に稲川養護学校として南養護学校から独立開校し30年がたちました。児童生徒数も年を重ねるごとに増え、今年度の児童生徒数は74名となりました。

11月3日の創立30周年記念式典は天気にも恵まれ、御来賓63名、卒業生や保護者の皆様14名に出席していただき行うことができました。式典の中で、これまで本校の教育活動を支援して下さった3名の方々へ感謝状を贈呈しました。児童生徒代表の挨拶にも「支えてくださる地域の皆さんに感謝し、みんなで力を合わせて一生懸命頑張っていきます。」という言葉があり、たくさんの方が応援してくださっていることを改めてありがたく思いました。

第二部は、高等部生徒が「いなよう太鼓」の演奏を披露し、湯沢南家佐竹太鼓の皆さんに指導していただいた迫力ある太鼓の音が、式場いっぱいに響きました。続いて、みんなで練習した2曲の「ふるさと」を心を込めて合唱しました。

米田教育長の祝辞に「ふるさとに興味をもち、学ぶ意欲と自信を育てる」という言葉がありました。これからも地域の方々と関わり、生き生きと自分の力を発揮できる「いな」の子どもたちを育てていきたいと考えています。



式典の様子



いなよう太鼓

(教諭 谷口 和江)